

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

家づくりをまちづくりへ。持続可能な家づくりを通して地域に根ざした事業活動を行っている
2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会に向けて目指すものは『LCCM住宅』の標準化

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	省エネ・断熱性能のために高性能な躯体性能を確保。 住宅性能評価による施工精度の確保。	省エネ・断熱性能:HEAT20G2グレード以上を標準仕様 2024年 100% →2027年 100%(継続) 長期優良住宅認定、設計・建設性能評価 2024年 100% →2027年 100%(継続)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域の森林組合と連携した地域材の利用促進	合法木材使用率 2024年 100% →2027年 100%(継続)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	大工社員化による職人育成 女性活躍の推進	新築工事社員大工率:2024年50%→2027年 迄 60 % 社員女性比率:2024年43%→2026年迄 47%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標**を記載してください。(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

「熊本県農林水産部森林局森林整備課と熊本県有林保護のカーボンオフセット・クレジット購入」
「全国木造建設事業協会と、熊本県産材を使った木造応急仮設住宅利活用」

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	省エネ・断熱性能のために高性能な躯体性能を確保。 住宅性能評価による施工精度の確保。	省エネ・断熱性能:HEAT20G2グレード以上を標準仕様:100%(継続) 長期優良住宅認定、設計・建設性能評価: 100%(継続)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	自社の標準仕様として省エネ・断熱性能:HEAT20G2 グレード以上、長期優良住宅認定、設計・建設性能評価を お客様へ説明、ご理解を頂いている。	省エネ・断熱性能:HEAT20G2グレード以上を標準仕様:100% 長期優良住宅認定、設計・建設性能評価: 100%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域の森林組合と連携した地域材の利用促進	合法木材使用率:100%(継続)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	自社の木材加工工場を熊本県産の杉材だけを用いて建築し、見た人に熊本県産杉の品質の高さを感じてもらえる建物となった。	合法木材使用率:100%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	大工社員化による職人育成 女性活躍の推進	新築工事社員大工率:2024年迄30% 新築工事社員大工率:2030年迄50% 社員女性比率:2024年迄30% 社員女性比率:2030年迄50%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	大工の社員化を推進し、積極的に社外の研修へ参加を促した。また、社員の多様性を大切に、性別、学歴経歴に左右されず採用活動を行った。	新築工事社員大工率:50% 社員女性比率:43%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**